

一般質問通告一覧表

令和6年12月3日(火)

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	米弥又由	40分	学校図書の整備、充実について 文部科学省は、「読書センター」「学習・情報センター」として機能を有する学校図書館の利用は、児童生徒の健全な教養の育成に大変有効だとし、図書の充実を含め、学校図書館の環境整備を計画的に行い、学習活動における積極的な活用を図るよう求めている。 そこで、本市における学校図書館図書標準の達成状況を尋ねる。	教育長	9:30
			ごみステーションの整備について 令和2年度に、ごみステーション整備費の補助上限額が3万円から5万円に増額されている。しかし、大きな自治会ではごみの量も多く、現在の形状では対応ができない状況となっており、補助金の増額を求める意見があるが、ごみステーションの整備に対する市長の見解を尋ねる。	市長	
2	林哲也	80分	国民健康保険制度の問題について 国民健康保険の保険料は市町村ごとに決められ、世帯単位で徴収されるが、加入者の所得の低い国保が他の医療保険より保険料が高く、重い負担となっている。こうした国保の構造的な問題に対する見解を問う。また、保険料は所得に保険料率をかける「所得割」、世帯員の数に応じてかかる「均等割」、世帯に定額でかかる「平等割」を合算して保険料が算定される。国保では、他の健康保険にはない「均等割」があり、子どもの数が多いほど保険料が引き上がる仕組みとなっているが、どう認識しているのか。	市長	10:20
			終活情報登録制度の取り組みについて 周南市は本年7月30日、独居の高齢者らが病気や事故で意思表示ができなくなったり、死亡したりした場合に、事前に指定した相手や公的機関に市が本人の登録情報を伝える「終活情報登録制度」を始めている。本市においても、もしものことがあったとき、自分自身の最期や死後の手続きを誰に託すか不安に感じている人も少なくないと思われるが、制度の実施に向けて検討すべきではないか。また、社会福祉協議会と行政との連携による死後事務サービスの取り組みはどこまで進んでいるのか。	市長	
			地域農業の課題と将来展望について 中山間地域が大部分を占める本市の農業は、担い手（基幹的農業従事者）の高齢化と後継者不足により深刻化する状況にある。また、集落営農法人においても同様に、オペレーターの高齢化に伴う後継者不足が大きな課題となっており、規模の縮小や解散の意向を持つ法人もあるが、こうした現状に対する認識とともに、地域農業の将来像をどう考えているのか。また、JAがコメ農家に前払いする今年の概算金は代表的な品種で4割増となっているが、このことに対する見解を問う。	市長	
3	田中千秋	70分	災害対策について 南海トラフ地震や中央構造線断層帯の地震など、広域的な被害をもたらす可能性のある災害に対して、たとえ市内での直接的な被害が少なくても、物流の停滞等により市民生活に影響が出ることが考えられる。市としてどのような対策をとられているか問う。また、本市では共助の要として自主防災組織が設立されているが、現在その組織が活動している地域において、どのような活動が行われているのか市長に尋ねる。	市長	13:00
			学習支援について 現在本市では、子どもにやさしい環境づくり事業として、低所得者世帯等の子どもを対象に学習支援を行っているが、利用率が伸びないなど様々な課題を抱えている。子どもたちがどのような環境にあっても、学習や体験の機会が損なわれないようにするためには、事業の見直しが必要であると考えるが、市長の見解を問う。	市長	
4	有田茂	30分	スマート農業の推進について 農業の後継者不足が深刻化する中、市はスマート農業の推進に注力しているが、一般の農家にはその概念や利点が浸透していない現況である。そのため、市は農家にどのようにスマート農業の重要性を説明し、普及を促進していくのかを尋ねる。	市長	14:20

令和6年12月3日(火)

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
5	綾城美佳	80分	市の花木・生物の保護について これまで長門市では、サクラ・ツツジの花木、ホタルといった生物をシンボルとして定めている。しかし、老木のサクラやツツジの適正な管理、ホタルが生息しやすい環境づくりなど、市としてより一層踏み込んだ取り組みが必要と考える。例えば、湯本地区の川沿いにあるサクラはてんぐ巣病にかかっているものもあり、このまま放置すると樹勢が衰え、枯れる原因ともなる。観光資源としても守る必要があるが、そこで、本市におけるこれまでの取り組み及び現状と課題について市長に問う。	市長	15:00
			子どもの特性に寄り添える環境づくりについて 現在市では、子どもたちが健やかに成長するための各種施策を推進しているが、保育などの現場では近年、配慮の必要な子どもたちが増えている。市では、子ども一人ひとりの特性に寄り添える環境づくりに努めているが、更なる取り組みの強化が求められていると考える。そこで、配慮の必要な子どもに対する支援について市長の考えを問う。	市長	
			子どもたちにとってのよりよい教育について 令和6年4月に議員全員協議会において、本市の人口減少及び少子化を受けて、教育委員会では小中学校の今後のあり方を検討すること、特に少人数化が進んでいる通・神田小学校の2校については、全体の検討に先行して令和6年度から検討を開始するとの方針が示された。この方針に基づき、神田小学校については令和7年度末をもって閉校し、令和8年4月1日から日置小学校に統合することとなったが、統合に際して、保護者や地域の協議はどのように行われたのか教育長に問う。また、通小学校の進捗状況についても問う。	教育長	

令和6年12月4日(水)

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	ひさなが信也	40分	夜間の移動手段確保について 市内では、夜間における診療後の移動に困っている方や、飲食業を営んでおられる事業者の方々から、夜間の移動手段の確保について要望がある。市は、夜間の移動手段について、現状をどのように捉えているか問う。	市長	9:30
7	江原健二	30分	空き家等の対策の推進状況と課題について 近年、人口減少や少子高齢化、核家族化などにより、市内全域で空き家が増加している。 こうした状況を踏まえ、市では、平成31年3月に「長門市空き家等対策計画」を策定し、その後、令和4年3月に改訂して、防災や衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないようにするため、空き家等の対策を総合的かつ計画的に進めているが、その推進状況と課題、今後の対応について尋ねる。	市長	10:20
8	岩藤睦子	50分	ながと健幸百寿プロジェクトの総括について ながと健幸百寿プロジェクトは、2019年から5年間の計画として健康対策、未病(予防)対策、医療・介護対策(人的確保)、住まいの健康対策、高齢者雇用の推進という5つの対策を実施しており、令和5年度がその最終年度となったが、このプロジェクトの総括と今後の取り組みについて問う。	市長	11:00
			オーガニック食材を活用した健康づくりの推進について オーガニック食材は、食品の安全性、美味しさと栄養、自然環境や天然資源の保護、農家の安全など多くのメリットを持っている食材と考える。 また、第4次長門市食育推進計画では、「食」と「健康」の関係に着目し、様々な取り組みを通じて食体験で心豊かな人づくりや、地産地消による地域づくりを基本目標の一つに掲げている。 更に「オーガニックビレッジ宣言をしたまち」として、オーガニック食材を食育に取り入れることで、より一層市民の健康増進が図られ、意識の高揚に拍車がかかるかと考えるが、市長の見解を問う。	市長	

令和6年12月4日(水)

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
9	上田啓二	40分	市有財産の維持管理について 市の所有する財産には、土地や山林、建物など様々あるが、その中でも市道が市民にとって最も関連深いとされる。現状は、特に高齢者の方々の「利他の精神」に支えられ何とか維持できているが、このままの体制では近い将来、管理が困難となる恐れがある。そこで、行政としての今後の方向性について尋ねる。	市長	13:00
10	田村大治郎	45分	不登校児童生徒への対応について ① 10月31日、令和5年度の児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸課題に関する調査結果が文部科学省から公表された。全国的には学校の不登校の児童生徒数が過去最多となるなど、極めて憂慮すべき状況が継続している。本市では不登校の児童生徒や保護者への適切な支援につなげるためにどのような対応を行うのか尋ねる。 ② 学齢の外国人の子どもへの保護者については、学校教育法第16条等による就学義務は課されておらず、また学校教育法施行令第1条に規定する学齢簿の編製については、外国人の子どもは対象となっていない。そこで、国際人権規約及び児童の権利に関する条約を踏まえ、就学の機会を確保する観点から本市が外国人の子ども及びその保護者に対して行う支援について尋ねる。	教育長	13:50
			不登校の生徒に対する進路指導について 現在中学生のほとんどは高校へ進学しており、学校には高校入試に関する豊富な情報がある。しかし、不登校の生徒は学校に通えないため、進学する高校や入試に関する情報を得ることが難しい。そのため特に不登校の生徒及びその保護者に対し、どのように進路指導や情報提供を行っているのか尋ねる。	教育長	
11	重村法弘	50分	ナンキンハゼ繁茂の対応について 県道38号線などの街路樹として植栽されているナンキンハゼから起因するナンキンハゼの繁茂に対応する要望書が、令和5年11月に俵山地区発展促進協議会から市へ提出されている。また、本年8月には同協議会からこの街路樹伐採の要望書が長門土木建築事務所に提出されているが、その対応状況及びナンキンハゼ繁茂への今後の対策について尋ねる。	市長	14:45
			公選職の選挙について 公職選挙には、国政、県政、市政に関わる選挙があり、本市の市政に直接関わる選挙には、市長選挙や市議会議員選挙がある。 近年、他の地方自治体では驚くような選挙戦、選挙結果の事例もあることから、本市の公職選挙のあり方についてどのような見解をもたれているのか。また、来年4月執行予定の任期満了による市議会議員選挙について、市政として期待するものは何か尋ねる。	選挙管理委員長 市長	